

Ⅰ．施設情報・代表建物の情報				
施設基本情報	施設名称	埋蔵文化財センター		
	代表所在地(地番又は住所)	佐間3-3534-1	代表建築年度	S51 ( 1976 ) 年度
	所管課	文化財保護課	構造・階層	RC・1階建
	大分類(類型)	社会教育系施設	経過年数	47 年
	中分類(機能)	文化財収蔵施設	敷地面積	2,690.00 m <sup>2</sup>
	配置形態・管理形態	単独 直営	延床面積	513.82 m <sup>2</sup>
	建物所有状況	市所有	土地所有状況	市所有
	借受面積(賃借の場合)	- m <sup>2</sup>	借地面積(借地の場合)	- m <sup>2</sup>
	避難所指定の有無	なし	駐車可能台数	11 台

Ⅱ．施設性能、財務情報、供給情報分析						※端数処理の関係で合計と内訳、単位あたりの数値が一致しない箇所がある				
■ 施設性能分析(評価大分類)						■ 財務情報(過去3年間平均)				
<p>当該施設の値 比較対象(同一分類)の他施設の平均値</p>						歳出		当該施設	同一中分類平均	
評価大分類項目						歳出合計		770 千円	432 千円	
当該施設の値						内訳	人件費	0 千円	0 千円	
							需用費	389 千円	201 千円	
							委託料	267 千円	174 千円	
							土地・建物賃借料	0 千円	0 千円	
							工事請負費	0 千円	0 千円	
							その他維持管理費	114 千円	57 千円	
							指定管理料等	0 千円	0 千円	
						延床面積あたり(縦棒)		1,498 円	2,318 円	
						利用者あたり(折線)		- 円	1,703 円	
						歳入		当該施設	同一中分類平均	
同一中分類の平均値						歳入合計		0 千円	0 千円	
						内訳	施設利用	0 千円	0 千円	
							その他	0 千円	0 千円	
							補助金等	0 千円	0 千円	
						延床面積あたり(縦棒)		0 円	0 円	
						利用者あたり(折線)		- 円	0 円	
■ 供給状況(過去3年間の平均)						【歳出の推移】				
利用実績		当該施設		同一中分類平均		<p>令和3年度 令和4年度 令和5年度</p>				
児童・生徒・園児数		- 人		- 人						
学級数		- 組		- 組						
開館・提供日数		146 日		255 日						
年間延利用者数		0 人		28 人						
年間利用・給食件数		- 件		- 件						
資料数		- 点		- 点						
入居戸数		- 戸		- 戸						
利用者数(縦棒)		0 人		28 人						
1日あたり利用者数(折線)		0 人		0 人						
【利用状況の推移】						【歳入の推移】				
<p>令和3年度 令和4年度 令和5年度</p>						<p>令和3年度 令和4年度 令和5年度</p>				
凡例		利用者数(縦棒)人		1日あたり利用者数(折線)人		凡例		当該施設	延床面積あたり	利用者あたり(折線)
						分類平均		延床面積あたり		利用者あたり(折線)

Ⅲ．施設評価結果によるポートフォリオ(機能別評価)																	
■ 費用対効果分析【供給グラフ折線×㎡あたり収支(工事請負費除く)による比較】																	
<p>高↑ 利用度 ↓低 高←コスト/㎡→低</p> <p>【当該施設の評価】比較対象なし</p> <table><thead><tr><th>区分</th><th>対応</th><th>費用対効果のとらえ方</th></tr></thead><tbody><tr><td>A</td><td>継続</td><td>コストと利用度のバランスが良い</td></tr><tr><td>B1</td><td>コスト改善</td><td>コスト面の改善が必要</td></tr><tr><td>B2</td><td>利用度改善</td><td>利用度の改善が必要</td></tr><tr><td>C</td><td>見直し</td><td>コストと利用度のバランスが悪い</td></tr></tbody></table> <p>凡例: ■ … 当該施設 ◆ … 比較対象(同一分類)の他施設</p> <p>※ 点の位置は、同一分類の施設全体の平均値からの乖離度合いを表している。</p>			区分	対応	費用対効果のとらえ方	A	継続	コストと利用度のバランスが良い	B1	コスト改善	コスト面の改善が必要	B2	利用度改善	利用度の改善が必要	C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い
区分	対応	費用対効果のとらえ方															
A	継続	コストと利用度のバランスが良い															
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要															
B2	利用度改善	利用度の改善が必要															
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い															

■ 一次評価【費用対効果分析×施設性能分析による比較】																																
<p>優↑ 費用対効果分析 ↓劣 劣←施設性能分析→優</p> <p>【当該施設の評価】C2</p> <table><thead><tr><th>区分</th><th>対応</th><th>方向性の考え方</th></tr></thead><tbody><tr><td>A</td><td>継続</td><td>現状維持・長寿命化を基本とする</td></tr><tr><td>B1</td><td>向上</td><td>施設性能の向上を検討する</td></tr><tr><td>B2</td><td>向上</td><td>費用対効果の向上を検討する</td></tr><tr><td>C1</td><td>改善</td><td>施設性能の改善を検討する</td></tr><tr><td>C2</td><td>改善</td><td>施設性能と費用対効果、両方の改善を検討する</td></tr><tr><td>C3</td><td>改善</td><td>費用対効果の改善を検討する</td></tr><tr><td>D1</td><td>見直し</td><td>施設性能の見直し(建替え改修等)を検討する</td></tr><tr><td>D2</td><td>見直し</td><td>費用対効果の見直し(機能移転等)を検討する</td></tr><tr><td>E</td><td>要見直し</td><td>施設性能と費用対効果、両方の見直しが必要である</td></tr></tbody></table> <p>凡例: ■ … 当該施設 ◆ … 比較対象(同一分類)の他施設</p> <p>※ 点の位置は、同一分類の施設全体の平均値からの乖離度合いを表している。</p>			区分	対応	方向性の考え方	A	継続	現状維持・長寿命化を基本とする	B1	向上	施設性能の向上を検討する	B2	向上	費用対効果の向上を検討する	C1	改善	施設性能の改善を検討する	C2	改善	施設性能と費用対効果、両方の改善を検討する	C3	改善	費用対効果の改善を検討する	D1	見直し	施設性能の見直し(建替え改修等)を検討する	D2	見直し	費用対効果の見直し(機能移転等)を検討する	E	要見直し	施設性能と費用対効果、両方の見直しが必要である
区分	対応	方向性の考え方																														
A	継続	現状維持・長寿命化を基本とする																														
B1	向上	施設性能の向上を検討する																														
B2	向上	費用対効果の向上を検討する																														
C1	改善	施設性能の改善を検討する																														
C2	改善	施設性能と費用対効果、両方の改善を検討する																														
C3	改善	費用対効果の改善を検討する																														
D1	見直し	施設性能の見直し(建替え改修等)を検討する																														
D2	見直し	費用対効果の見直し(機能移転等)を検討する																														
E	要見直し	施設性能と費用対効果、両方の見直しが必要である																														

Ⅳ．機能及び施設の現状と課題		
■ 現状における施設の課題と対応(現状で課題がない場合でも今後10～20年程度を想定して記載)		
課題	主に埋蔵文化財等の整理作業、文化財関係資料保管場所として活用しているが、9割方スペースが埋まっていることから保管場所を確保する必要がある。	センター、倉庫それぞれ老朽化しているが、特に倉庫についてはプレハブ造であることもあり、老朽化が著しい。
対応方針	令和3年度末をもって廃校になった星宮小学校の1階への移転作業を令和4年度中に行い、スペースを確保した。	センターについては修繕で対応し、倉庫については令和5年度に撤去予定。

# 施設カルテ（調査票）

埋蔵文化財センター

令和 6 .3.31時点

## I 施設・建物情報

施設基本情報	施設名称		埋蔵文化財センター		会計名		普通会計		
	施設番号		032		カルテ番号		031-040050-01-113		
	所在地（地番又は住所）		佐間3-3534-1		所管課		文化財保護課		
	大分類		社会教育系施設		中分類		文化財収蔵施設		
	延床面積施設計		513.82 m <sup>2</sup>		敷地面積		2,690.00 m <sup>2</sup>		
	建物所有状況		市所有		土地所有状況		市所有		
	うち借受建物面積		m <sup>2</sup>		うち借地面積		m <sup>2</sup>		
	小学校区		南小学校通学区域		中学校区		行田中学校通学区域		
	管理形態		直営		配置形態		単独		
	指定管理・委託先名								
複合・併設の状況									
避難所指定		なし		駐車可能台数		11 台			
建物基本情報 ※欄が不足する場合には4ページ以降に続きを記載	1	建物名	埋蔵文化財センター		主体構造	RC	階数(地上・地下)	1	0
		大規模改修実施年度		延床面積	273.16 m <sup>2</sup>	建築年度	1976	年度	
		耐震診断・耐震補強	実施済		不要		経過年数	47	年
	2	建物名	倉庫		主体構造	LS	階数(地上・地下)	2	0
		大規模改修実施年度		延床面積	240.66 m <sup>2</sup>	建築年度	1992	年度	
		耐震診断・耐震補強	不要		不要		経過年数	31	年
	3	建物名			主体構造		階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度		年度	
		耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年
	4	建物名			主体構造		階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度		年度	
		耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年
	5	建物名			主体構造		階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度		年度	
		耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年
	6	建物名			主体構造		階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度		年度	
		耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年
	7	建物名			主体構造		階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度		年度	
		耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年
	8	建物名			主体構造		階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度		年度	
		耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年
9	建物名			主体構造		階数(地上・地下)			
	大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度		年度		
	耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年	
10	建物名			主体構造		階数(地上・地下)			
	大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度		年度		
	耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年	

## 施設カルテ（調査票）

### Ⅱ 財務情報（コスト）

単位：千円（端数処理の関係で過去3年の平均と各年度の合計が一致しない箇所がある）

		過去3年の平均	令和3年度	令和4年度	令和5年度
運営 人員	正規職員数	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
	再任用職員数	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
	会計年度任用職員数	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
施設運営人員 計		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
人件費		0	0	0	0
需用費【光熱水費】		389	325	345	497
需用費【修繕料】		0	0	0	0
需用費【その他】		0	0	0	0
委託料（施設維持管理）		267	267	267	267
指定管理料		0	0	0	0
土地建物等賃借料		0	0	0	0
工事請負費		0	0	0	0
その他維持管理経費		114	96	118	127
①歳出合計		770	688	730	891
施設利用収入		0	0	0	0
その他の収入		0	0	0	0
補助金等収入		0	0	0	0
②歳入合計		0	0	0	0

財務 指 標	施設収支（①-②）	770	千円	収支割合（②÷①）	0.0	%
	利用者あたりコスト	-	円/人	利用件（点）数あたりコスト	-	円/件
	1㎡あたりコスト	1,498	円/㎡	入居戸数あたりコスト	-	円/戸

### Ⅲ 供給情報（利用）

※定員等については各施設に定めのある定員または過去3年間の平均値を記載

		定員等	令和3年度	令和4年度	令和5年度
施設 利用 状 況	児童・生徒・園児数		人	人	人
	学級数		組	組	組
	開館・提供日数	147	日	146	日
	年間延利用者数	0	人	0	人
	年間利用・給食件数		件	件	件
	年間貸出資料数		点	点	点
	入居戸数		戸	戸	戸

運営情報	設置目的	埋蔵文化財（出土品を含む。）の保存及び管理を行うとともに、その活用を図り、もって学術及び市民文化の振興に寄与するため。					
	設置根拠（設置条例等）	行田市埋蔵文化財センター条例					
	業務内容等	展示・整理作業					
	目的外使用	無		目的外の内容			
	運営時間（平日）	9　：　00　～　16　：　00		運営時間（休日）		：　　　～　　　：	
その他制限等	建物解体等の制限						
	その他特記事項						

## 施設カルテ（調査票）

### Ⅲ 供給情報（利用）続き

供給指標	過去3年の平均利用者数	0	人	過去3年の平均学級数	-	組
	過去3年の平均開館日数	146	日	過去3年の平均利用件数	-	件
	過去3年の平均貸出資料数	-	点	過去3年の平均入居戸数	-	戸

### Ⅳ 施設性能調査結果

分類		内容	
Ⅰ 施設	建物の外壁	建物の外壁修繕（外壁の塗り替え・張り替え等）は行っていますか。	
		回答	【回答の内容】 1：平成20年度以降に修繕を行っていない、又は平成19年度以前に修繕を行っている。 2：平成20年度以降に竣工、又は修繕を実施しているが、目視で確認できる劣化（ヒビ割れ・タイル浮きなど）がある。 3：平成20年度以降に竣工、又は修繕を実施しており、外壁に問題は無い。 4：不明 5：該当なし
		2	
		備考	センター倉庫の外壁に隙間がある。
	建物の屋根・屋上	建物の屋根・屋上の防水工事は行っていますか。	
		回答	【回答の内容】 1：平成6年度以降に工事を行っていない、又は平成5年度以前に工事をやっている。 2：平成6年度以降に竣工、又は工事を実施しているが、雨漏りや目視で確認できる劣化（防水層の破損など）がある。 3：平成6年度以降に竣工、又は工事を実施しており屋根・屋上に問題は無い。 4：不明 5：該当なし
		1	
		備考	平成22年度の改修時に実施。
	耐震性能	建物は耐震性を有していますか。	
		回答	【回答の内容】 1：旧耐震基準に基づく建物であり、耐震改修の実績が無い。 2：旧耐震基準に基づく建物であり、耐震改修の実績が有る。又は、耐震改修する必要がない。 3：新耐震基準に基づく建物である。 4：不明 ※耐震基準が不明な場合は、建築年が昭和56年6月1日以降の場合は新耐震基準、それ以前の場合は旧耐震基準とした。
		2	
		備考	改修時に耐震改修は必要なしと判断された。
Ⅱ 設備	冷暖房	冷暖房設備に支障はありますか。	
		回答	【回答の内容】 1：支障あり（備考欄に支障内容を入力してください） 2：支障はあるが軽微なもの 3：支障なし 4：不明 5：該当なし
		3	
		備考	平成26年度に修繕を実施。
	給排水	建物の給排水管の更新工事は行っていますか。	
		回答	【回答の内容】 1：平成6年度以降に更新工事を行っていない。 2：平成6年度以降に竣工、又は更新を実施しているが、漏水や赤水、詰まり、水圧不足等が生じている。 3：平成6年度以降に竣工、又は更新を実施しており、問題が無い。 4：不明 5：該当なし
		3	
		備考	令和元年度に排水管（流し台・トイレ）の修繕を実施。
Ⅲ 安全	防災管理	消防用設備等・特殊消防用設備等点検・報告は実施していますか。また、指摘事項は改善していますか。	
		回答	【回答の内容】 1：指摘あり、改善していない。 2：指摘はあるが、軽微なもの 3：指摘なし、又は対応済 4：不明 5：該当なし（点検対象施設ではない）
		3	
		備考	年2回消防設備点検を実施し消防に報告している。点検内容に指摘なし。令和元年度に誘導灯設備の修繕を実施。
	安全管理	特殊建築物定期点検報告は実施していますか。また、指摘事項は改善していますか。	
		回答	【回答の内容】 1：指摘あり、改善していない。 2：指摘はあるが、軽微なもの 3：指摘なし、又は対応済 4：不明 5：該当なし（点検対象施設ではない）
		5	
		備考	対象建築物ではないため実施していない。
Ⅳ 環境	環境保全	太陽光パネルやLED照明等の省エネルギー設備を導入していますか。	
		回答	【回答の内容】 1：未導入 2：検討中 3：導入済 4：不明 5：該当なし
		1	
		備考	導入コストが課題。
Ⅴ 機能	バリアフリー	バリアフリー（誘導ブロック、手すり、スロープの設置等）への対応ができていますか。	
		回答	【回答の内容】 1：未対応 2：一部対応済 3：対応済 4：不明 5：該当なし（市民利用がなく、対応不要） ※概ね全体の7割程度が対応している場合は「3」、7割未満だが一部対応している場合は「2」を選択している
		2	
		備考	利用目的が展示がメインでなく、作業に使用しているため。



# 施設カルテ（調査票）

## I 施設・建物情報（続き）

建物基本情報 2	建物名		主体構造		階数(地上・地下)		
	11 大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度		年度
	耐震診断・耐震補強				経過年数	-	年
	建物名		主体構造		階数(地上・地下)		
	12 大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度		年度
	耐震診断・耐震補強				経過年数	-	年
	建物名		主体構造		階数(地上・地下)		
	13 大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度		年度
	耐震診断・耐震補強				経過年数	-	年
	建物名		主体構造		階数(地上・地下)		
	14 大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度		年度
	耐震診断・耐震補強				経過年数	-	年
	建物名		主体構造		階数(地上・地下)		
	15 大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度		年度
	耐震診断・耐震補強				経過年数	-	年
	建物名		主体構造		階数(地上・地下)		
	16 大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度		年度
	耐震診断・耐震補強				経過年数	-	年
	建物名		主体構造		階数(地上・地下)		
	17 大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度		年度
耐震診断・耐震補強				経過年数	-	年	
建物名		主体構造		階数(地上・地下)			
18 大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度		年度	
耐震診断・耐震補強				経過年数	-	年	
建物名		主体構造		階数(地上・地下)			
19 大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度		年度	
耐震診断・耐震補強				経過年数	-	年	
建物名		主体構造		階数(地上・地下)			
20 大規模改修実施年度		延床面積	m <sup>2</sup>	建築年度		年度	
耐震診断・耐震補強				経過年数	-	年	

## V 施設現況

施設写真

